

今週のビルマのニュース
2008年9月26日号【0829号】

「ビルマに民主主義が生まれるまで闘い続けるつもりです」
—19年ぶりに解放された民主化勢力側ジャーナリストのウィンティン氏(79)

今週の主なニュース：サフラン革命から1年

・僧侶を中心とした大規模デモから1年。世界各地で記念行事が行われている。ツツ大司教やダライラマ14世らノーベル平和賞受賞者8人は声明を出し、全政治囚の解放などを呼びかけた。ラングーン中心部では25日に爆弾が爆発し、数人が負傷した模様(25日付APほか)。

・昨年9月、軍政に抗議するデモの取材中に射殺された長井健司氏撮影のビデオテープを提供すると言って現金を脅し取ろうとしたミャンマー国籍の男が恐喝未遂容疑で逮捕された(23日付産経新聞ほか)。「ミャンマー軍による長井さん殺害に抗議する会」は25日、10万人分の抗議署名をビルマ大使館に提出した。長井氏が持っていたビデオカメラなどの返却も求めている(26日付毎日新聞)。

その他：囚人9002人に恩赦、ほか

・自宅軟禁が続いているアウンサンスーチー氏は、軍政が軟禁延長措置を取ったのは違法だったとして訴えを起こす予定。弁護士側が首都ネピドーで手続きする準備をしている(22日付DVBほか)。

・スーチー氏が書記長を務める国民民主連盟(NLD)は声明を出し、軍政は新憲法を一方的に起草し、国民投票で「暴力により承認させた」と主張。憲法を見直す委員会の設置を軍政に求めた。これに対し軍政はNLDに声明を撤回するよう命じた。

・ガンバリ国連特使がイラワディ誌のインタビューに応じた。8月のビルマ訪問時にスーチー氏に面会を断られた理由については「正直に言ってわからない」。任務が失敗したとの批判については「政府の『ロードマップ』を承認しているわけではない」と弁明し、辞任するとのうわさも否定した。

・軍政は23日、恩赦で9002人の囚人を釈放。ほとんどが刑事犯だったが政治囚も数人含まれており、19年間獄中にあったジャーナリストのウィンティン氏(79)も解放された。国連総会が始まったのに合わせて恩赦を与え、国際圧力の軽減を狙ったものと見られている。

・軍政とインド国営水力発電公社(NHPC)はチンドウィン川での水力ダム建設(合計1800メガワット)を共同で行うという覚書に調印した。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

9月12日 ヤンゴンのろう学校の設備充実のため、草の根無償資金協力(約920万円)

イベントなど

・長井健司さん殺害の真相究明を求める署名キャンペーン 呼びかけ：在日ビルマ人共同行動実行委員会・ビルマ市民フォーラム(10月19日まで)

・国民民主連盟(NLD)結成20周年記念デモ NLD日本支部(宮下公園集合、27日13時半~)

・サフラン革命から1年!!デモ行進 ビルマ民主化同盟・名古屋(名古屋栄公園、28日15時半~)

・ビルマ・ロヒンギャ難民集団訴訟 難民問題専門家クリス・レワ氏の専門家証言(証人尋問)(東京地裁103号大法廷、10月1日13時半~)

・難民事業本部関西支部 わたしたちの難民問題2008/vol.12「ミャンマー難民は今 宇田有三(フォトジャーナリスト)」(神戸市青少年会館研修室、10月2日18時半~) 要申込

・早稲田大学アジア研究機構第4回国際シンポジウム「東南アジアの紛争と平和」(大隈記念講堂、10月10日10時~、14時から根本敬・上智大学教授による講演「ビルマ民主化に展望はあるのか?」)

サイクロン被災者救援チャリティ・コンサート
出演：沢知恵・いとうせいこう・根本敬、ビルマ市民フォーラム主催(星陵会館、10月17日18時半~) チケット発売中!

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165